

令和元年度第2回国立市運営審議会委員の方のご意見及びご質問一覧

	ご意見・ご質問	市の回答
1	AとBで月額100円ほど違うが、この100円の違いで、650キロカロリーというエネルギー量をどちらの案でも満たされるのか？	4月の献立表から平成17年度のカロリーは666キロカロリーが平均値、平成26年度のカロリーは654キロカロリーが平均値となっており、どちらも650キロカロリーを超えている現状であり、カロリー以外にも各栄養素があるが、基本的には、これを献立の段階で満たしていくということで値上げを考えている。
2	改定案について単純にパターンAとBのメニュー、内容を比較させていただいたところ、この例だけではないと思うのですが、カロリーが上がったあげく、プラス内容は一品増えるだとか、そういった単純なことではなくて、栄養素的にバランスのとれたものになる予定で考えていかれるのでしょうか？	学校栄養摂取基準は、ビタミンAやビタミンB1など各栄養素もあるのでバランスのとれた各栄養素を取り入れていき基準を満たすように考えている。 何か一つのエネルギーであるたんぱく質だけではなく、全て総合的に勘案して彩りなどバラエティーに富んだ献立を考えている。
3	我が子にアレルギーがあるという点で一つ気になったのが、給食費が値上げされるに伴って、デザート的なものがちょっと増えるのではないかなとか、あと、洋食的な、単純にカロリーが増えると、卵、乳製品はすごく多いと思うんですが、その辺は現時点でアレルギーの子、次にアレルギーの施設ができるまでの間、まだ年数があると思うんですけども、それは特に考慮はなく、単純にメニューはカロリーと栄養素で考えていく方向とってよろしいのでしょうか？	まだ給食センターが旧式なため、調理場が、アレルギーに完全に対応していない点は、申し訳ないと考えている。 給食に関しては、基本的には、適切な栄養の摂取を当然最初に考え、例えば旬の食材を使用しつつ、国の施策である米飯給食の拡大も考えている。 なおかつ、児童や生徒の嗜好に合った献立を考えつつも、苦手な食材を克服する給食も考えていかなくてはならない。そういうようなものを総合的に勘案し、給食費の改定については、質を向上させるという目的ではなくて、質の低下が否めないところを平成17年、あるいは平成26年当時の質を維持していくという考えである。
4	私は、Aパターン、Bパターン、どちらも上がることには変わらないので、どちらがいいということではないのですが、ただ、ご用意していただいたこの資料を見る限りでも、平成17年度に比べて平成31年度、カロリーももちろんそうなんですけど、メインのたんぱく質量に差があるように単純に見えるんですね。 それは、多分、私たちの家での食事づくりでもそうなんですけど、魚、肉はなどのメインのものは、値段が上がっているのでも抑える傾向にありますけど、給食でもその影響もあるのかなと感じます。 なので、給食でたんぱく質、メインがどんどん減っていってしまう。野菜とかも大事なんですけど、メインが少し金額を上げることによって、子供たちもやっぱりメインのものは好きな子も多いと思うので、メインの食材の充実に向かうのであればパターンAでもパターンBでも賛成だなと思っております。	平成17年度の4月8日（金）の献立名のところに、エビフライ2本とある。このときエビフライは1本36円、それが平成29年度は1本88円に値上がりしている。高価なため、中学校では、提供可能だが、小学校では提供することができない金額に物価が上がっている。
5	私は、改定案のAとBと見る限りでは、どちらも上げるのであればしょうがないかと。しょうがないというか、こういうご時世なので仕方がないと思うので、子供たちには育ち盛りなのでやっぱり好きなものとか、好き嫌いをなくすような感じのメニューでも工夫して提供していただけたらと思いますので、それをお願いしたいと思います。	承知しました。

6	<p>パターンAとパターンBがあって、どちらも8%の消費税分を含むというか、8%の消費税という形で合わせているんですけど、今回、10%になるに当たって、この8%分というので正直、足りているのかどうかというところについてはいかがでしょうか。</p>	<p>消費税についても考慮している。今年の10月、10%に引き上げられる予定である消費税の改定も含めて、平成30年度に給食費の改定を検討している。</p>
7	<p>物価の上昇による値上げは仕方ないと思うのですが、栄養のバランスをよくしようと思ってる値上げもあると思うので、パターンA、Bの値上げぐらいで大丈夫なんでしょうか。</p>	<p>最初の改定案説明時に、消費者物価指数が、平成29年は101.9との説明をしている。平成30年度の消費者物価指数は、103.4であり、物価は年々上昇傾向であることは否めないと考えている。 各市の状況を見ると、適宜、物価上昇やあるいは献立の充実などを考慮して、各市とも給食費の改定を適宜行っている。 国立市では、過去14年間1回も改定をしていなかった。次に改定をするとしても、かなり慎重に行っていきたいと考えている。例えば今年、来年度に向けての給食費の改定をした場合、2年後に改定をするかどうか考えるという部分よりは、もうちょっとスパンをあげるべきと考えている。</p>
8	<p>14年間、今まで給食費を改定していなかったところ、来年度上がるということで、もしパターンBの場合だと、少なくとも三、四年と今、おっしゃっていましたが、三、四年後にまた上げざるを得ない状況にならないのかなということちょっと不安に思ったことと、改定する、審議するだけでやっぱり経費もかかりますので、1回上げると、やっぱり最低三、四年、もう少し上げないでずっと同じ給食費を維持できるようにしたほうがいいのではないかなと思います。その場合、B案だと大丈夫なんでしょうか。</p>	<p>長い目で考えたら、将来的に物価が下がることはあまり考えられないので、徐々に上がっていく傾向にあると考える。 委員は、A案の方が良いとの意見であるが、A案・B案の選定については、皆様にご審議いただきたい。給食費の改定については、給食の質の維持、子供たちの生活や子供たち本位、子供たちの命にかかわる問題だと私は思っておりますので、それを鑑みて議論いただいて、A案かB案、どちらかで決めていただきたいと考えている。</p>
9	<p>4月から低温殺菌牛乳に変わりましたというのが平成17年に書いてありまして、今回、A案とB案について検討されているのかなと思ったのですが、この牛乳補助金カット分というのがB案のほうに入っていますけれど、これはビン牛乳を使うことによって、補助金が出ていると理解でよろしいですか。</p>	<p>この補助金については、牛乳提供者である東毛酪農業協同組合が国から高付加価値牛乳提供者として、奨励金を交付されており、奨励金の分を牛乳代金から差し引いていた。平成26年度から平成29年度の3年間の制度であったが、現在は、国の制度は終了している。</p>
10	<p>例えば値上げ率をすごく少なくしたら、またその次の値上げまでのスパンというのは、ほんとうに短くなっていくと思うんですけど、値上げもしてさらにビン牛乳じゃなくなってという、消費する側からするとあっちもこっちもなの？みたいな感じがあるので。 例えば、A案だったら値上げ率はちょっとB案よりも高いですね。でも、ビン牛乳であることには変わらなくて、今後、何年かしてからビン牛乳をまた紙パック牛乳にするのかとかという議論がちょっとずつ先延ばしにするというか、そういうほうがいいのかというふうには素直に感じた次第なんですけれど。 紙パックの牛乳というのは、例えばビンの牛乳とどれぐらい量が違うのかというのは、もう検討に入られているんですか。</p>	<p>牛乳の量は200mlで変わらない。国立市のビン牛乳の価格は、税抜きで54円、学校給食会を通じる紙パック牛乳の価格は51.09円であり差は、2円91銭となっている。 現在のところ、国立市としては、紙パック牛乳へ移行する意向はない。</p>

11	<p>現場から離れているので、ちょっと皆さんと切り口が違うかと思うんですけども、こちらにいる方たちは、いろいろ説明を見てどっちがどうだというのを受けて、改定後、Aのほうがいいのかなどということもあると思うんですが、実際、学校に来ている保護者の皆様、そこまで熱心に内容まで見るかといったときに、この値上げ幅、Aだと年間5,000円近く上がってしまうとか、Bのほうはそうでもない。月額にして一般、私たちから見たら350円、250円の月額の値上げというのは大したことはないなと思うんですけども、ご家庭によっては、そう思わない方もいるかもしれないと思います。</p> <p>14年、値上げをしなかったというのはすごいと思うんですけども、実際、過去、うち、子供たちを育てていて、学年が上がれば値段も上がるので、そういうときというか、値上げしたので、成長とともに上がるのに、一々そんなに重く思わなかったんですが、急にこれからこれだけ上がりますという幅が大きいと、やっぱりちょっと不満というか、あまり好ましく思わないご父兄の方もいるのかなとちょっと思いますので、私としては値上げ幅がやれるなら少ない幅で、スパンを短い期間で値段を改定していくほうがいいのかとちょっと思ったりしました。</p>	ご意見ありがとうございます。
12	<p>質問というか、コメントをさせていただきますと、やはり物価も上がっているということで予算不足で使いたい食材が買えないとか、例えば最近だと異常気象が多くて食材の価格が突然上がったりとか、そういったことが起きた際に、何か買えなくなってしまうとか、そういったことが起きてしまうと、やはり栄養面でデメリットが大きいので、ある程度、食材費に関しては余裕があったほうがいいのかと思いますので、値上げはやむを得ないのかなとちょっと思いました。</p> <p>また、予算がやはり制限されていますと、メニューの選択の幅が狭くなって同じようなメニューばかりになったりとか、味つけも制限されたりとかということで、逆に給食を残す残食が増えたりとか、そういうところにつながるというのもちょうと懸念される場所なので、食材の種類が減って食育面でもマイナスになりますし、残食が増えてしまう可能性も増えるというところで、ある程度、余裕を持った食材費の確保というのは必要なのかなと思いました。</p> <p>ただ、値上げということになりますので、保護者さんの理解を得るというような努力をもう少しされたらいいのかなと思います。特に給食というのは、栄養バランスも考えられていますし、メニュー表を見てもわかるとおり、食材もかなり多様な食材が豊富に使われていますので、そういったよい面をもっとアピールをして、情報発信とセットで値上げをお願いします。今回の値上げの理由と給食のよさというところを、もうちょっと力を入れて情報発信して、それとセットで値上げしていくのがいいかなと思います。</p> <p>ちょっとAがいいのか、Bがいいのかというのは、特に判断はつかないですけども、パターンAであっても、一応、その算定の根拠がありますので、理解をお願いするというような説明をして理解をしていただくということが可能であれば、Aでもいいのかなと思いました。</p>	ご意見ありがとうございます。

13	<p>改定パターンAとBで金額が違うんですけども、今回、世間的に消費税10%ということもあって、これに伴って改定したほうが、私はいいのかなと思います。</p> <p>子供が3人いるので、金額が上がると家庭のほうには少しでも支障が来ると思うんですけども、何年後かにまた上がるんだったら、今、ちょうど上げてもらってやったほうが、私はいいのかなと思います。</p> <p>また2年後、3年後に検討するんですしたら、今、上げて、ちょうど消費税も上がるということでやったほうが、保護者としてはああそうだよねというふうにならいいのかなと思います。</p>	ご意見ありがとうございます。
----	---	----------------